

事務事業名		新産業クラスター事業		会計		一般会計		実施区分			
H28担当課等名		工業課		H28係等名		工業振興係		H27係等名		工業振興係	
基本計画上の位置づけ		政策 1		多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり		施策 13		新しい力による新しい産業づくり		開始 14 終了	
目的	対象(誰・何を)		クラスター形成を目指す意志のある企業		指標名及び単位		27年度数値				
	意図(どういう状態にするか)		成長性の高い産業分野(航空機産業等)のクラスターを形成することで、地域経済の安定成長をねらう。		対象指標		飯田メディカルバイオクラスター参加企業数		53		
	向上させたい上位施策の成果指標		粗付加価値額 飯田下伊那 (億円)		対象指標		航空宇宙プロジェクト参加企業数		38		
目標	種別		指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標		航空機部品の共同受注件数(エアロスペース飯田)		100	193	230	-			
	成果指標		航空機部品出荷額(PJ分 多摩川精機を除く)(億円)		9	9	10	-			
定性目標											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新産業分野の参入を目指す企業を中心にテーマ別プロジェクトの立ち上げと共同受注及び共同開発の活動を支援する。 ・企業OBによるコーディネーターを配置する。 ・航空宇宙産業クラスターの形成を目指し、航空機部品受注のために要求される課題解決に向けプロジェクト及び4つのワーキングチームの活動を重点的に支援する。航空宇宙プロジェクト 参加企業38社 ワーキングチーム ①共同受注チーム②QMSチーム③ソフトチーム④加工チーム ・健康長寿社会への対応を進めるため、メディカルバイオクラスター形成を目指し、協議会を立ち上げ、運営を支援する。 ・バイオ関連研究開発型モデルの集積化を支援する。 										
	事業内容					名称			活動指標		
27年度事業内容	1 航空宇宙産業クラスターの形成支援(地域連携M1名配置) (1)中核企業を中心に一貫生産・受注体制の構築及び販路開拓支援 (2)専門コーディネーターによる生産技術者の育成 (3)信州大学航空機システム共同研究講座の設置支援(産学官金連携コンソーシアムの形成)(新規) (4)旧飯田工業高校の基本設計及び構造計算(新規) 2 メディカルバイオクラスターの形成支援(医療専門家を新規1名配置) (1)2つの分科会活動支援(医療機器系・食品系分科会) 3 環境産業への製品開発等支援 (1)マイクロ水力発電システム実証事業の評価・検証 (2)エネルギー安定供給に向けた調査研究(新規) 4 食品産業クラスターの形成支援 (1)3分科会の活動支援(ファクトリーパーク、原材料等調達、人材育成)					1 (1)PJ会議回数 WT会議回数 受注営業回数 (2)生産技術指導回数 (3)準備会議開催回数 (4)設計及び構造計算 2 会議開催回数 3 (1)会議開催回数 (2)技術支援回数 4 会議開催回数			1 (1) 6回 111回 30回 (2) 66回 (3) 5回 (4) 2回 2 14回 3 (1) 9回 (2) 31回 4 2回		
	事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		62,570	100,070	90,069	11,570	26→27繰越明許 40,000千円 (地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金:地方創生先行型) (そ)使用料 航空宇宙産業クラスター拠点工場用地使用料 4,869千円					
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他		4,869	4,870	4,869	4,870						
一般財源		57,701	95,200	85,200	6,700						
人件費計(千円)②		7,367		7,152							
正規職員所要時間		2,000		2,000							
臨時職員所要時間		200									
総事業費①+②		69,937	100,070	97,221	11,570						
事業内容・目標達成状況の振り返り		航空宇宙産業のクラスター形成については、地域内一貫生産に向けて整備された航空宇宙産業クラスター拠点工場を活用し、新規開拓の受発注を増加することができた。その他、人材的課題「品質管理・生産技術」に対しては、CATIAや非破壊検査などの分野について、専門人材活用によるOJT研修を実施することができた。また、メディカルバイオクラスターについては、医療専門家を配置して取り組むことができた。									
改革改善の考え方	①問題点	航空宇宙産業クラスターは、OJTの実施、新規受注の増加など先進的に取り組んでいるが、新規顧客の獲得等の支援をさらに充実させる必要がある。また、メディカルバイオや食品等のクラスターについても、統括的なコーディネーターを配置しながら、クラスター活動を充実させていく必要がある。									
	②改革提案	大規模展示会へのブース出展、商談などに関する情報提供など積極的な支援をさらに充実させるとともに、各分野の専門家やコーディネーターの知見を活用した支援が必要である。									